

高松市立山田中学校 道徳便り 2020



夏休み明けからはや1ヶ月が経ちました。日暮れが早くなり、少しずつ秋の気配を感じ始める頃です。10月は本年度初の通知表が発行されます。半年間の頑張りを振り返り、これからの生活に生かして行ってほしいものです。

さて、9月の道徳の週のテーマは「**藍（郷土）**」でした。今年の夏休みは県内で過ごした方が多いと思います。だからこそ、「ふるさと香川」の良いところなどをもう一度考え、郷土のありがたさや伝統のすばらしさに触れてほしいと思い、香川県にまつわる内容を教材として道徳科の授業で学習しました。

1年生 「島にアートがやってきた」



瀬戸内国際芸術祭のためにプロジェクトに参加した中学生の作文を通して、男木島の人々の気持ちの変化を考えることで、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に努めるためにどうしたらよいかを考えました。

- 十河城をもっと知ってほしい。十河城はあまり知名度がないからもっともっと魅力を伝えていきたい。
- この先にながあっても心は一つです。変わったり変わらなかったりすることもあるけど、うどんや自然、香川の良いところはそのままいてほしいです。
- はじめは、「何もないところ」と思ったけど、この授業をしているうちにだんだんとふるさとに対する気持ちが変わったような気がした。そして、この地域をさらによくするにはどうしたらいいのか自分から進んで見つけていきたい。
- ふるさとについて考えたことはなかったけれど、男木島について考えることで、ふるさとについてもっと知りたいと思いました。私の思う一番の魅力は自然豊かなところです。田植えや農作業などはどこでもできるわけではないと思うからです。ふるさとの人だれにでも優しくしたいです。
- 他県の人々にはうどんのイメージしかないかもしれないけど、他にもオリーブや瀬戸大橋など良いところがたくさんあるということを知ってほしいと思いました。私は友達と気軽にいけるフジグランが大好きです。
- このまま、私たちのなつかしいと思えるふるさとでいてほしいです。自然がいっぱいで元気なあいさつ、うどんが有名な香川県でずーっといてください！おうえんしています。

2年生 「手袋にかける」



職場体験学習の打合せに訪れた出来事を書いた中学生の作文を通して、担当の仕事への思いを捉えることで、働くことで得られることについて理解し、職場体験学習で学びたいことについて考えました。

- 仕事は、お金のためだけでなく、やりがいや楽しさがでできます。ですが、そこまでたどり着くためには、自信やこの仕事への誇りが必要だということが分かりました。なかまと協力して達成できるまでがんばっていくことがとても大切だと分かった。
- 仕事は笑顔、自分の気持ちだけでは取り組めないと思いました。働くのだったら仕事に対しての自信と誇りが大切だと分かりました。自分が働く時は、地元之恩返しできるようにしたいです。
- どんなささいな物でも皆が協力して苦勞しているのだなあと思いました。また、信頼や協力など、人のために誇りややりがい、思いやりをもって、仕事をしているのだなあと思いました。自分も地場産業を誇れるようになりたいです。
- これまで働くうえで大切なことはルールを守ることや収入、仕事のしやすさのようなことしか考えてなかったけれど、喜びややりがい、仕事に対しての自信と誇りをもつことが大切だと分かりました。

3年生 「ふるさとの銭形砂絵」



銭形砂絵を守り伝えていこうとするおじいさんと中学時代砂ざらえにいやいや参加していた大学生のやりとりを通して、郷土の伝統と文化を大切にしている人々に感謝の念を抱き、地域社会の一員として伝統や文化にも興味をもって関わろうとすることについて考えました。

- 昨年、ししまいに参加すると地域のおじいちゃん達と仲が良くなったり、おいしいものが食べられたり、楽しいことばかりでした。子どもの人数も少ないので、伝統を自分が受けついでいきたいと思います。
- 私は、今日の授業を受けて、昔から受け継いできたものを大事にすることが必要だと思いました。これから、私は、地元の伝統文化や伝統行事について知って、それを守っている人たちに感謝することも忘れないようにしたいです。
- 自分の地域の文化や物を後世に伝えられるような活動をしたいと思いました。そのためには、地域で開催されるイベントなどに積極的に参加するようにしたいです。
- 今までずっと香川県で暮らしていて地元を離れることがどういうことなのかあまり想像はつかないけれど、他の県に自慢できる、ほこれるところが気付いていないだけで香川にはたくさんあると思いました。

切り取り線

ご意見欄

お名前

